

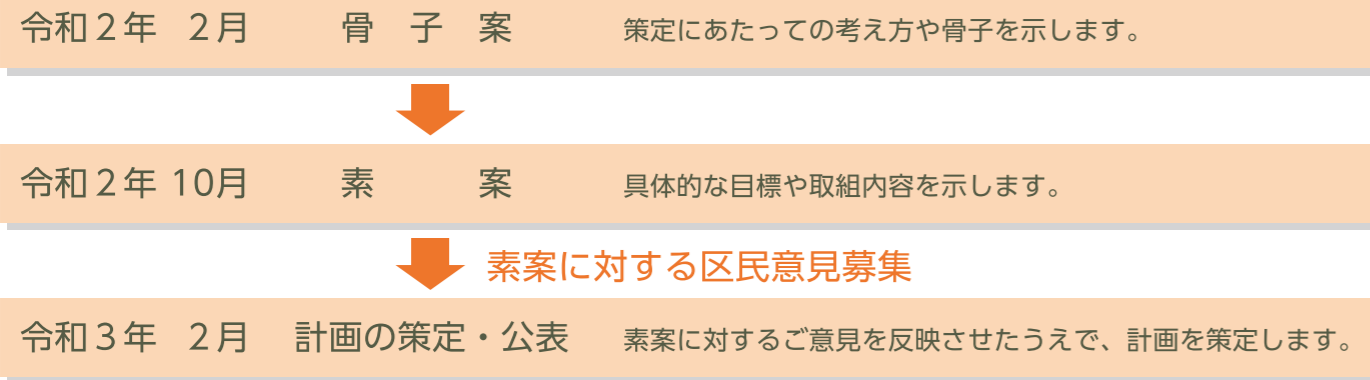
## 地区別計画の策定

都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」は、区全体計画と地区別計画の2層で構成されています。地区別計画とは、連合自治会町内会及び地区社会福祉協議会エリアごとに、自分たちのまちを「こんなまちにしたい」という目標を立て、取り組む活動をまとめたものです。

次期の地区別計画についても、地域の実情に応じた計画を、地域の皆さまとともに策定していきます。



## 第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」策定スケジュール



## 第20回都筑区チャリティーゴルフ大会より「つづき あい基金」へ、寄付をいただきました!

都筑区にゆかりある個人・団体・企業が参加された「第20回都筑区チャリティーゴルフ大会」からの寄付金を、同大会実行委員会より、都筑区社会福祉協議会善意銀行に贈呈いただきました。「つづき あい基金」等を通じて、都筑区地域福祉保健計画推進のために活用させていただきます。



### 「つづき あい基金」助成金をご活用ください

都筑区地域福祉保健計画を推進する活動を応援する「つづき あい基金」助成金制度があります。次回の募集は令和2年4月末を予定しています。詳しくは都筑区社会福祉協議会までお問い合わせください。

- 開催日時：令和元年9月5日（木）
- 参加者数：187名
- 協賛：61者・社
- 寄付金額：60万円

【お問合せ】 都筑区社会福祉協議会  
 電話：045-943-4058 FAX：045-943-1863 <http://www.tuzuki-shakyo.jp/>

横浜市都筑区福祉保健課

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1

TEL 045-948-2344 FAX 045-948-2354 Email tz-tifuku@city.yokohama.jp

令和2年2月発行



今号の内容

第24号

3



つづき あい 計画

## 第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」骨子案について

「つづき あい通信」は、都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を推進する地域の取組や、関連情報を紹介する計画情報誌です。

## 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」とは

都筑区では、誰もが地域で安心して暮らせるよう、人と人の「であい ささえあい わかちあい」を基本理念として平成18年に都筑区地域福祉保健計画を策定し、地域の皆さまと関係団体、福祉施設・事業者等と区役所、区社会福祉協議会（以下、「区社協」という）、地域ケアプラザが協働して進めています。

現在の第3期計画の期間が令和3年3月までであることから、令和3年4月から令和8年3月までを計画期間とする第4期計画の策定を進めています。この度、計画としてまとめていくための基本的な考え方である「骨子案」を作成しました。



### 地域福祉保健計画における「自助」、「共助」、「公助」の連携

地域福祉保健においては、個人でできることは自分たちで取り組む「自助」、一人では解決できないことをお互いに助け合う「共助」、行政でなければ解決できない問題に取り組む「公助」が相互に連携して進められることが重要です。

## これまでの第3期計画の取組

健康づくり、高齢者の見守り、多世代交流、災害時に備えた地域のマップづくりなど地区の状況に応じた活動が行われ、顔の見える関係づくりが進みました。また、区役所や区社協などの補助金・助成金を活用し、活動をさらに活性化・主体化した取組が増えました。



# 第4期 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」の方向性

第3期計画では、基本理念『人と人との「であい ささえあい わかちあい」』のもと、都筑区のデータや特徴を踏まえ、分野ごとに取組を進めてきました。

第4期計画でもこれまで築き上げてきた成果を土台に、地域人材の育成や成年後見制度の利用促進など、地域共生社会の実現に向けて、地域福祉保健の取組を一層、推し進めていきます。

## 基本理念

人と人との「であい ささえあい わかちあい」

## 目指す姿

であいが広まり、お互いにささえあい、  
地域が持つ力をわかちあえる地域づくり

### 推進の柱1

であいが広まり、  
つながりのある  
地域づくり

#### 目指す姿

自治会町内会や地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員など地域課題解決に取り組む組織間の連携を深める基盤づくりを進めます。

また、地域で活動している人材の支援や新たな人材の育成に取り組めます。

#### キーワード

基盤、人材、相互理解

### 推進の柱2

お互いにささえあい、  
必要な人に支援が届く  
仕組みづくり

#### 目指す姿

地域全体での日頃からの見守り・支えあいの取組や住民同士の相互理解の取組を進め、支援が必要な人が支援につながっています。

また、身近な地域の情報や福祉保健情報をわかりやすく発信し、誰もが生活に必要な情報を取得することができます。

#### キーワード

支えあい、見守り、情報

### 推進の柱3

地域における様々な  
主体が連携しながら、  
地域がもつ力をわか  
ちあえる地域づくり

#### 目指す姿

地域福祉保健活動を広げるための環境づくりや、ネットワークの充実を図るなど、区役所、区社協、地域ケアプラザ、福祉施設、企業や学校、医療機関等の連携を進め、地域課題解決に協働して取り組み、地域全体の活力を高めます。

#### キーワード

協働、交流、場・機会

### 推進の柱1

であいが広まり、  
つながりのある  
地域づくり

#### 重点項目

- 1-1 地域の力を強くする基盤づくりを進めます。
- 1-2 地域課題解決に取り組む人材の支援や新たな人材の育成を進めます。
- 1-3 お互いを理解し、様々な人が地域と関わる共生・共創の仕組みづくりを進めます。

#### 取組例

- 地域福祉保健活動を推進する関係組織・団体への支援
- 区役所・区社協・地域ケアプラザが連携した地域活動の支援
- 地域福祉保健活動推進のための人材の確保・育成と環境づくり

### 推進の柱2

お互いにささえあい、  
必要な人に支援が届く  
仕組みづくり

#### 重点項目

- 2-1 支援が必要な人に必要な情報を届けます。
- 2-2 様々な人がつながり、お互いに支えあえる地域づくりを進めます。
- 2-3 いきいきと健やかに暮らせる地域づくりを進めます。

#### 取組例

- 災害時要援護者支援における見守りの仕組みづくり
- 生活に困りごとのある人の早期把握など生活困窮者自立支援方策の推進
- 権利擁護の推進や成年後見制度の利用促進
- 地域とのつながりや連携を通じた健康づくりの推進

### 推進の柱3

地域における様々な  
主体が連携しながら、  
地域がもつ力をわか  
ちあえる地域づくり

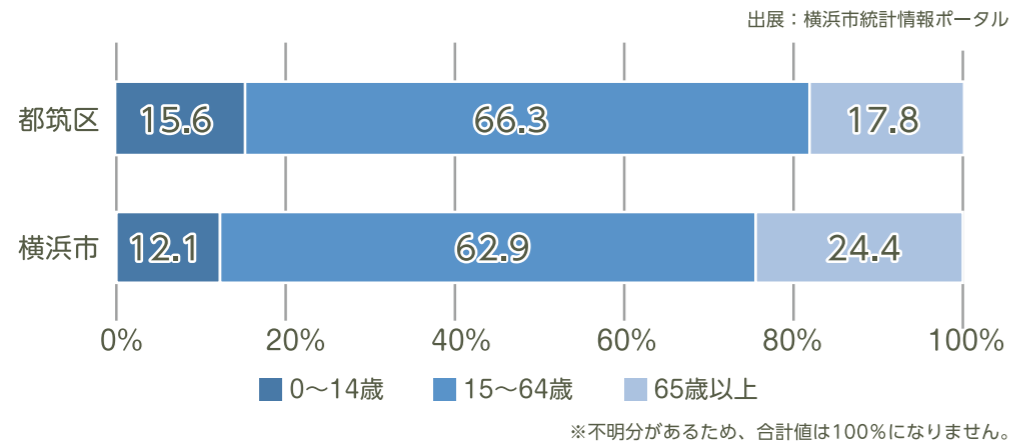
#### 重点項目

- 3-1 幅広い区民参加の促進を図ります。
- 3-2 多様な主体の連携・協働による地域づくりを進めます。
- 3-3 地域福祉保健活動を広げるための環境づくりを進めます。

#### 取組例

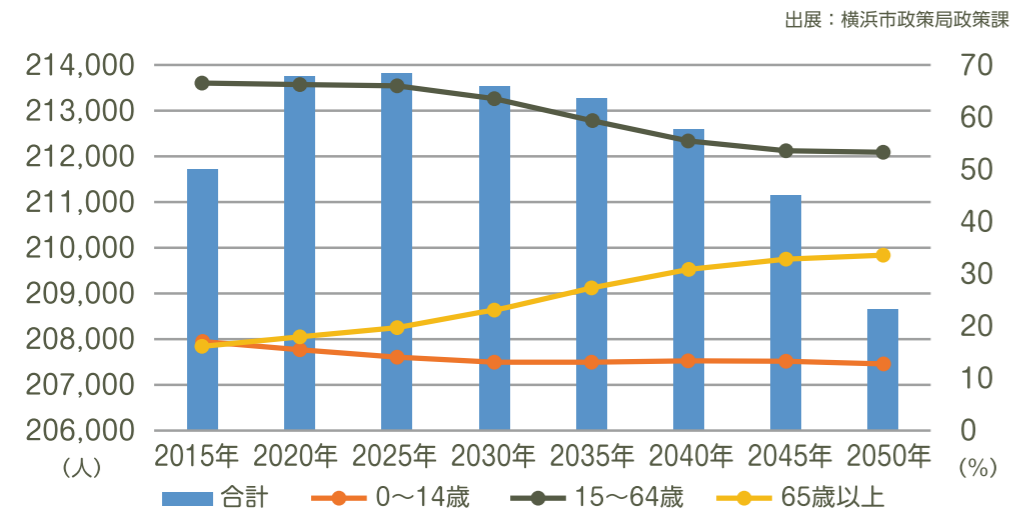
- 社会参加等につながる多様な選択肢の検討・実施
- 新たな活動の立ち上げや継続するための支援策の検討
- 施設や事業者の強みを活かした住民と協働による課題解決に向けた取組の推進

年齢3区分別割合の比較(平成31年1月1日現在)



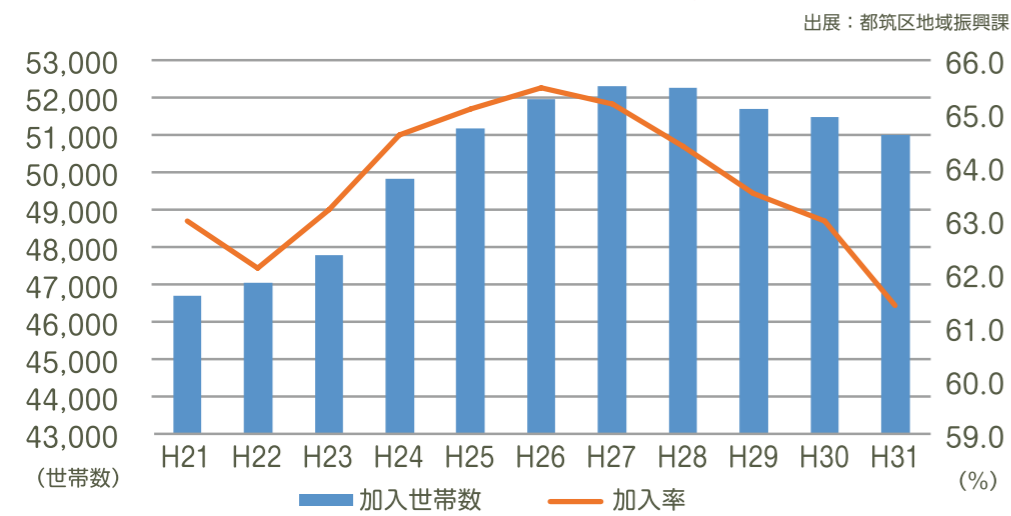
都筑区は、15歳未満の子ども(子育て世帯)が多く住むのが特徴です。

都筑区の年齢3区分別人口構成比の将来推計



子育て世代が多く住んでいる都筑区ですが、今後急速に高齢化が進むことが見込まれています。

自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移(各年4月1日時点)

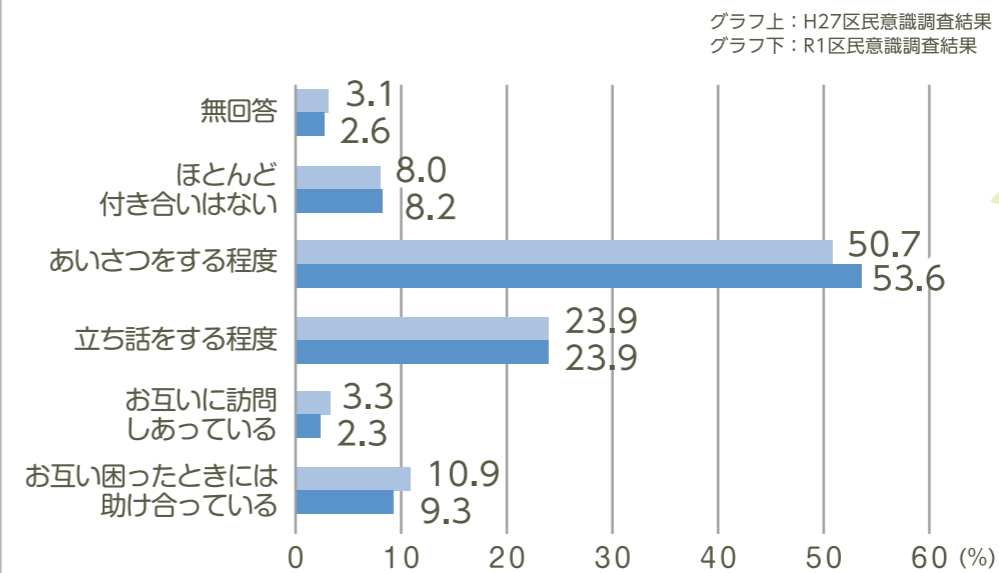


自治会町内会加入世帯数・加入率は、平成23年前後の増加傾向を経て、平成26年以降は減少傾向が続いています。

### 地域福祉保健計画の必要性

高齢化の進展などに伴い、支援が必要な方が今後ますます増加することが予測されています。地域では様々な活動が行われている一方で、住民同士のつながりの希薄化などの課題もあり、身近な地域の支えあいやつながりづくりが必要になってきます。そのため、誰もが地域で安心して健やかに暮らせるような取組を進めることが、今後さらに求められています。

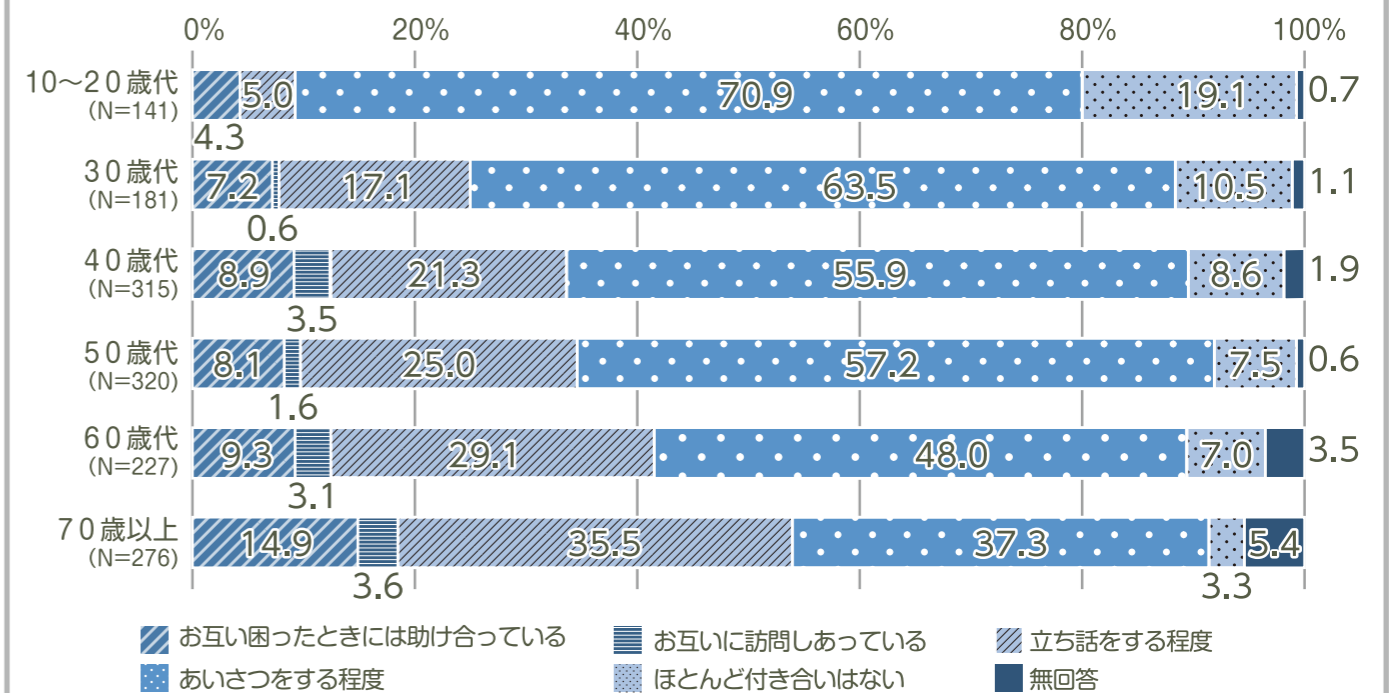
日頃の近所づきあいの程度 (n=1,496)



「あいさつをする程度」や「ほとんど付き合いはない」と答えた割合が前回調査と比較して増加傾向にあります。

年代別では、「お互い困ったときには助け合っている」は10～20歳代が最も低く、70歳以上が最も高くなっています。

日頃の近所づきあいの程度(年代別)



### 地域共生社会とは？

制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と地域社会にある資源が世代や分野を越えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

#### ◆「我が事」

社会的孤立や制度の狭間の課題といった、地域で表面化している課題に対し、地域住民が「他人事」ではなく「我が事」の意識をもって主体的に取り組み、つながり支えあう地域を育てていくこと。

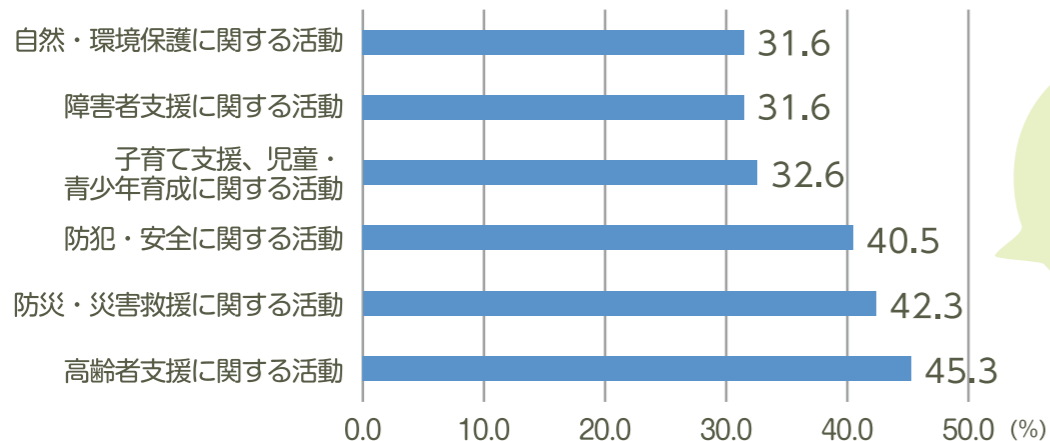
#### ◆「丸ごと」

「8050問題」や「ダブルケア」のように、多様化・複合化している生活課題に対し、高齢・障害といった分野を超えて包括的な支援を提供すること。

# 令和元年度都筑区区民意識調査結果(主なもの)

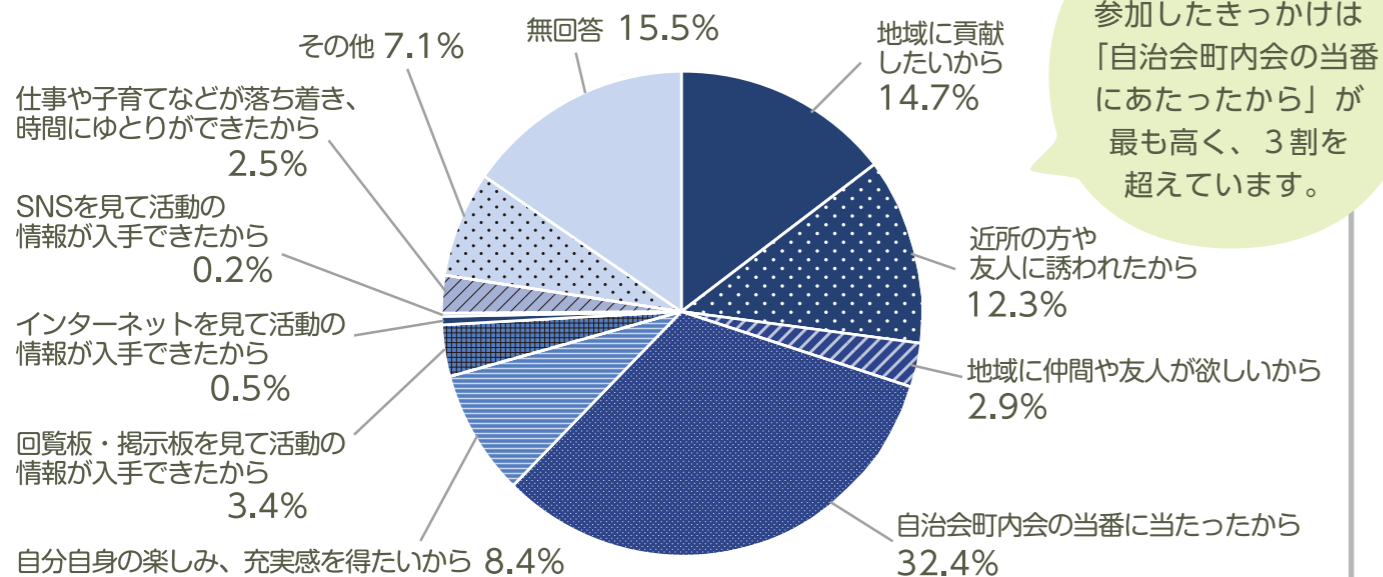
## 今後、地域の中でより充実させていくべき、活動(上位6項目)

複数回答可  
n=1,496



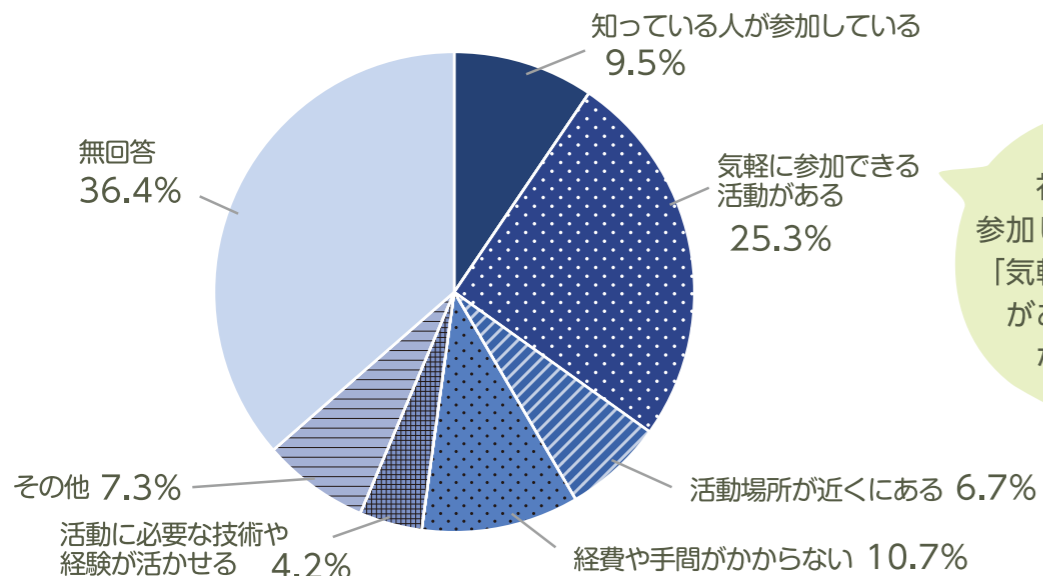
「高齢者支援に関する活動」や「防災・災害救援に関する活動」が上位になっています。

## 初めて社会貢献活動に参加したきっかけ (n=407)



社会貢献活動に参加したきっかけは「自治会町内会の当番に当たったから」が最も高く、3割を超えています。

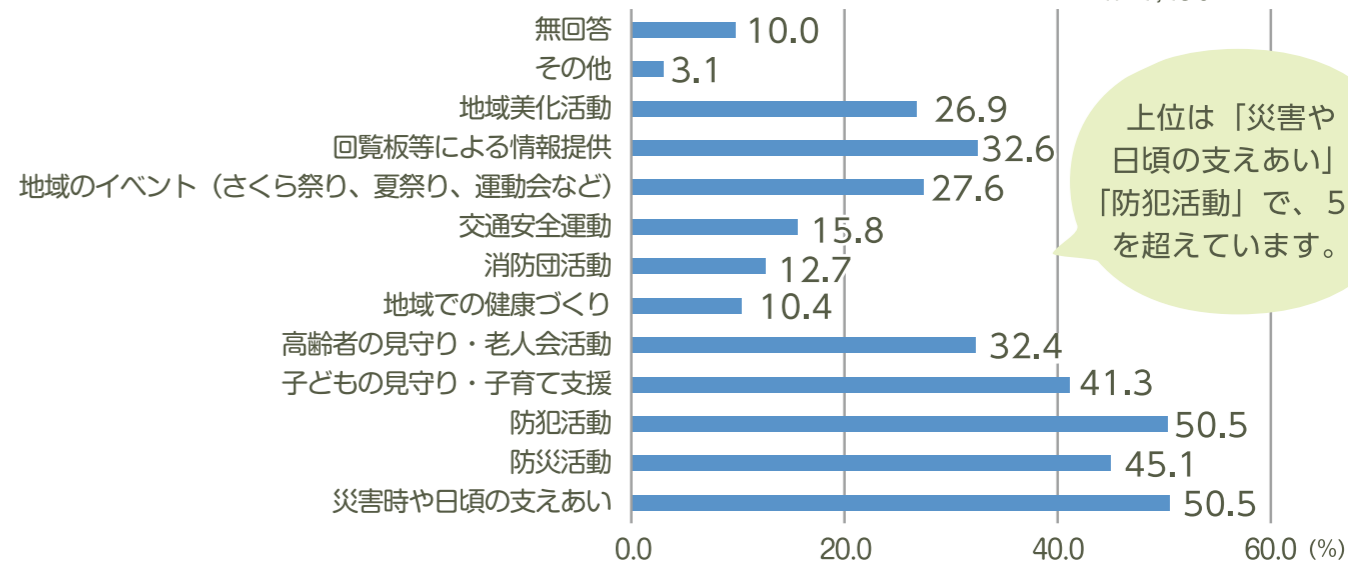
## 社会貢献活動に参加しやすい状況 (n=1,089)



社会貢献活動に参加しやすい状況では、「気軽に参加できる活動がある」が最も高くなっています。

## 自治会町内会活動に期待すること

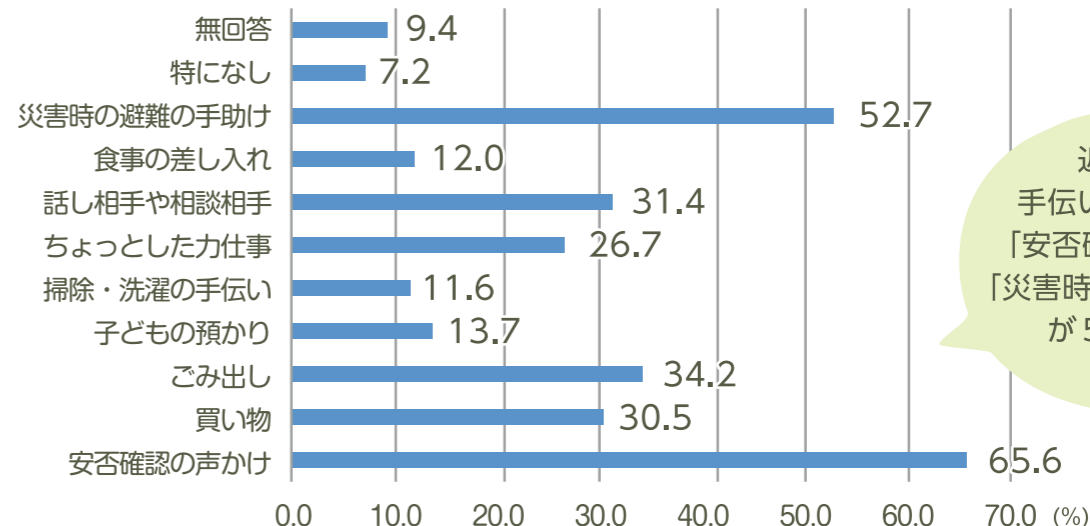
複数回答可  
n=1,496



上位は「災害や日頃の支えあい」「防犯活動」で、5割を超えています。

## 近所の方に手伝いできること

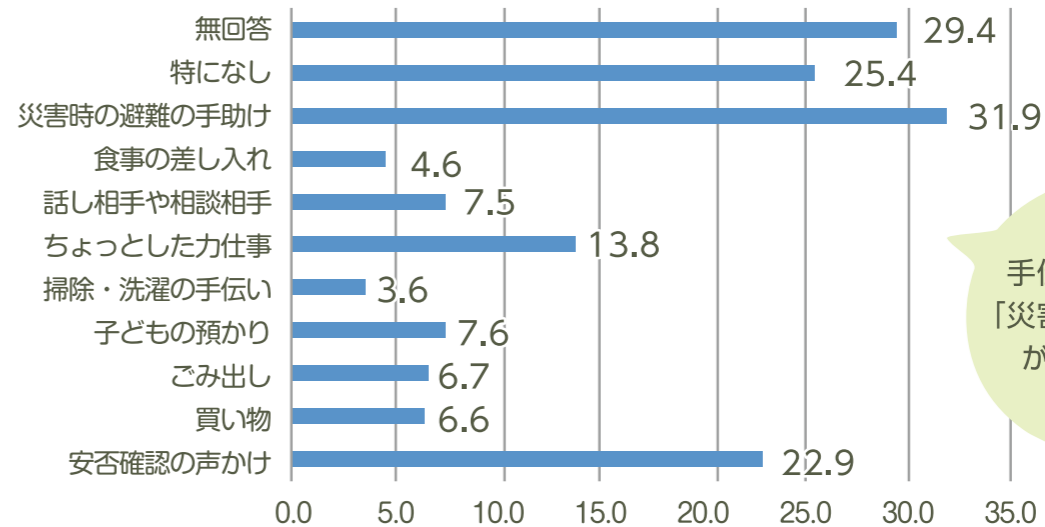
複数回答可  
n=1,496



近所の方に手伝いできることは「安否確認の声かけ」と「災害時の避難の手助け」が5割を超えています。

## 近所の方に手伝ってほしいこと

複数回答可  
n=1,496



近所の方に手伝ってほしいことは「災害時の避難の手助け」が最も高く、3割を超えています。